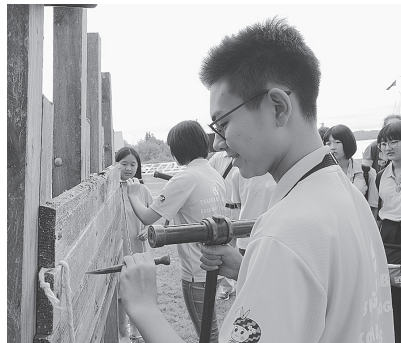




メイン州知事を表敬訪問



ホストファミリーとの対面



昔ながらの造船技術を学ぶ



カヤックで豊かな自然に触れる



書道で文化交流



カルタで盛り上がりみんな笑顔



# 中学生12人がバス市を訪問 姉妹都市の文化を学び、友好を深める

米国メイン州バス市への訪問団が8月9日から19日まで11日間の日程で訪米し、友好を深めてきました。今年は中学生12人、引率者3人の計15人が参加。一行はホームステイや文化交流などを通して、異国の生活と文化を肌で感じてきました。9月27日、松の館で行われた報告会では、団員一人一人がホストファミリーとの思い出や印象深い体験談など、それぞれ学び感じたことを発表しました。



特産のロブスターを味わう

## バス市訪問を振り返って

訪問団は、ホストファミリーらとふれあいながら異文化への理解を深め、同時に自分たちの文化を見つめ直しました。また、世界へ視野を広げ、もっと学びたいという意欲を持ち帰ってきました。参加した生徒の声を紹介します。



松橋 奈穂さん  
(車力中3年)

今回のバス市訪問事業を通して、たくさんのことを学びました。例えば、何事も自分から積極的に行動することが大切だということです。訪問中、英語に自信がなく諦めてしまうことが何度ありました。でも、自分が使える単語を精一杯使って、バス市の人と仲良くなっている訪問団の姿を見ていると、私も自分から声をかけたり、前向きに様々なことに挑戦したりできました。また、アメリカに行く前は不安なことばかりでしたが、実際に行ってみると優しい人ばかりで、私の英語を一生懸命聞いて、話してくれました。他にも、やってみたらわかったこと、感じたことがたくさんありました。温かく受け入れてくれたホストファミリー、この訪問事業に協力してくださったバス市の方、一緒に楽しい思い出を作ってくれた訪問団のみんなには感謝でいっぱいです。

私は今回この国際事業に参加して、いろいろなことを経験し、多くのことを学び、たくさん思い出を作ることができました。文化体験交流では、研修会で準備したことを本番で活かすことができ、達成感を味わいました。自由時間には、トイレやお店の場所などを道で出会った人に自分から聞いてみるということに挑戦しました。アメリカの人は、耳を傾けてくれて、分かりやすく説明してくれました。自分の英語が伝わるといのは、すごく嬉しかったです。一方で、英語でどう伝えるかを悩んだこともあったので、もっと英語を勉強して、次に行くときは今より伝えられるようになりたいです。また、今回のメンバーのみんなとは、いい仲間になれたと思います。数えきれないくらいたくさん思い出ができました。自分にとって、かけがえのない宝物です。



三上 愛可さん  
(柏中3年)



渡辺 翔斗さん  
(木造中3年)

ニューヨークでビックリしたことは、当たり前のように道にゴミが落ちていて、ポイ捨てる人がいたことです。日本ではありえないことなので、驚きが隠せませんでした。バス市へ移動し、ホストファミリーを待っていると、今年の夏日本に来ていたヘイデンとその家族が迎えにきてくれました。僕はヘイデンと再会した嬉しさのあまり、声をあげ飛びつきました。生活の中でいろいろな違いを見つけましたが、いいなと思ったのは、食べ物の量と値段の違いです。例えば、ハンバーガーは日本と同じ位の値段で2倍位の大きさ、ジュースのLサイズはとても大きくてビックリしました。今回の海外事業を通して感じたことは自分が思っている世界と本当の世界は違ったこと、そして日本という国は本当に恵まれていることです。今回の経験を何かしらの形で自分の将来に役立てたいと思います。



訪米した生徒の皆さん